

# News Release

2021年9月9日

株式会社日立ソリューションズ

## ポスチャマネジメントによりエンドポイントを自律的に管理する「秘文」最新版を提供 世界標準のガイドラインやホワイトハッカーの知見でリスクをスコアリングし、安全な態勢を保持

株式会社日立ソリューションズ(本社:東京都品川区、取締役社長:山本 二雄/以下、日立ソリューションズ)は、企業で利用されるエンドポイントのセキュリティ侵害を未然に防止し、常に安全な態勢に保つポスチャマネジメントを「可視化」「分析・評価(スコアリング)」「対策」の3つのステップで実現する「秘文 統合エンドポイント管理サービス」の最新版を9月30日に提供開始します。

最新版では、エンドポイントを継続的に「可視化(モニタリング)」し、最新のセキュリティ情報を収集する従来の機能に加え、世界標準のセキュリティ設定のガイドラインや日々公開され続ける膨大な脆弱性情報にホワイトハッカーの知見を加えて、セキュリティリスクを「分析・評価」します。優先度の高いセキュリティリスクから、OSのパッチ適用やセキュリティ設定の変更など、自動的に「対策」を実施することで、ポスチャマネジメントを実現します。

情報システム部門は、エンドポイントを自律的に管理できるポスチャマネジメントの実現によって、業務負担を大幅に軽減することができ、ゼロトラストセキュリティへの対応も推進することができます。

日立ソリューションズは、企業のDX(デジタル・トランスフォーメーション)が加速する中、「秘文」を通じて、場所や時間にとらわれずに安心して働ける環境や、サービスを安全に届けられる環境の整備を支援していきます。

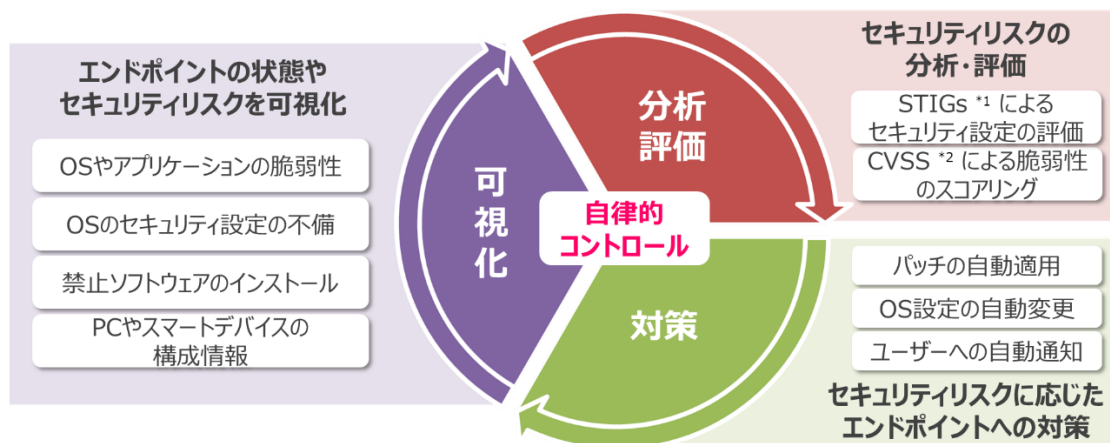


図 1: ポスチャマネジメントの3つのステップ

\*1 Security Technical Implementation Guides (STIGs): 米国防情報システム局 (DISA) のセキュリティ要件に準拠するためのベストプラクティス

\*2 Common Vulnerability Scoring System (CVSS): 情報システムの脆弱性に対するオープンで汎用的な評価手法

## ■ 背景

企業の DX 推進が加速する中、クラウドサービスやリモートワークの利用が急速に拡大し、セキュリティ対策が必要な範囲が拡大しています。エンドポイントが直接インターネットにつながり、外部からの攻撃リスクが増大するため、エンドポイントにおける防御力を高める対策が課題となっています。

こうした中、企業の情報システム部門は、セキュリティ設定のガイドラインの最新情報や年間で膨大な数が報告されている脆弱性情報について継続的に情報収集する必要があります。しかしながら、増大する業務への対応やセキュリティの専門知識・ノウハウの習得も必要なため、セキュリティ人材が不足している多くの企業にとって困難です。

そこで、日立ソリューションズは、エンドポイントの状況を可視化し、リアルタイムで評価・分析を行い、脆弱性などのセキュリティリスクに自動で対策していくことで、エンドポイントを常に安全な態勢に保ち、企業のセキュリティの課題を解決する「秘文」の最新版のサービスを提供することにしました。

## ■ 「秘文 統合エンドポイント管理サービス」最新版の特長

### 1. ホワイトハッカーの知見を取り込み、セキュリティリスクをスコアリング

厳格なセキュリティ設定のガイドラインとして世界中で知られている STIGs をもとに、シチュエーションごとに必要な項目を選定したセキュリティチェックリストを提供します。選定には、最新のセキュリティ情報を日々研究し、国内外のセキュリティコンテストで実績のある日立ソリューションズのホワイトハッカーの知見を取り込んでいます。また、日々公開され続ける膨大な脆弱性情報からセキュリティリスクを自動的に分析し、世界中で広く利用されている脆弱性評価基準である CVSS に基づき、対策の優先度をスコアリングします。これらの仕組みにより、企業で対策が必要な最新のセキュリティリスクを識別して、適切なセキュリティレベルに引き上げます。

### 2. エンドポイントの自律的な管理を支援し、運用負荷を軽減

最新のセキュリティ情報収集や自社に必要なセキュリティリスクへの対応項目選定、優先順位付け、ユーザーへの通知なども自動化するため、情報システム部門の運用負荷が軽減されます。OS の脆弱性やセキュリティ設定などの対策については、システム管理者やユーザーの手を煩わせることなく、自動的にパッチ適用や設定変更を実施します。また、サードパーティ製ソフトウェアのアップデートや企業で求められるパスワードポリシーへの対応など、人手での対処が必要な場合は、システム管理者やユーザーに対処方法を提示し、対策を促します。これらの仕組みにより、エンドポイントの自律的な管理を支援し、運用負荷を軽減します。

## ■ 提供開始日 2021年9月30日

◎株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号  
ホームページ <https://www.hitachi-solutions.co.jp>

日立ソリューションズ

## ■ 「秘文 統合エンドポイント管理サービス」の提供価格(税別)

標準価格

サブスクリプション型 1台当たり 7,800円/年 (500台の場合)

キャンペーン価格(2022年3月31日まで)

サブスクリプション型 1台当たり 4,000円/年 (500台の場合)

## ■ キャンペーンのお知らせ

2022年3月31日までの期間、導入費用をディスカウントするキャンペーンを実施しています。「秘文 統合エンドポイント管理サービス」の導入から運用開始までのサポートも提供します。詳細につきましては、販売代理店または弊社営業までお問い合わせください。

## ■ 「秘文 統合エンドポイント管理サービス」

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/hibun/sp/product/eps/>

## ■ 商品・サービスに関するお問い合わせ先

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

※ 秘文は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

※ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。